



基本編 (きほんへん)

テキスト P16~23

1

聖書はどんな本だと聞かれたら、あなたは何と説明しますか? (参照: P16 ~ 17)

何千年も前に書かれたのに今でも教えられる不思議な書。生きる術を教える本。
神様やイエス様を教えている書。どんな答えでも間違っていなかったら可。
受講者の答えを肯定的にとらえ、励ましましょう。
でも強調したいのは「神が書かれた」ということです。

2

神が天地を創造したことについて、あなたはどのように思いますか? (参照: P18 ~ 20 L6)

自然の雄大さ、四季の美しさ、生き物の種類の多さ、全く違う形や構造、何もかも神がいると思わせる。
人間が作る物は神が造られた物を用いて作ったに過ぎない。太陽からの距離が僅かの差で地球は生命のない星になるのに絶妙の距離を保っている・・・等、神をほめたたえられる内容ならすべて良いでしょう。まだ信じられない。進化論は間違っているのか、という方には「創造論を知らず進化論を信じている人は一般には多いです。疑問を持ちながらも良いので学びを続けていきましょう」と言って励ましましょう。

3

人間が神によって造られたことについて、あなたはどのように思いますか? (参照: P20 ~ 22)

考えたこともなかった。聖書を通して初めて知った。人間は進化してきたのだと思っていた。等、どんな感想でも良いです。強調点は人間には霊があるので神と心を通わせられるということで、神に似せて造られたのだから人間には良い心(例えば、善や正義、真実、聖くあろうとする心)があること、それを行ったら喜びが持てるということです。

4

神は人間を愛され、素晴らしい存在として創造して下さいました。そして人間は神と心を通わせ、喜びをもって生きるものだったのです。このような神を信じる時に、あなたの考え方や生き方はどのように変わのでしょうか? (参照: P22 ~ 23)

信仰によって神様が守ってくださるという根拠のある楽観主義になった。自分は何で生まれて来たのか分からず、生きる意味が分からなかったが、神に愛されて生まれて来た者、生きていて良い者と感じるようになった。人の陰口、悪口の中に居ても人間はそういうものだと思っていたが、神様が聞いておられると分かり、仲間に加わらない、出来たら良い影響をもたらす者になりたいと思うようになったなど、肯定的、積極的な意見が出るように導きましょう。

5

心に残ったこと、大切なことを書き留めておきましょう。

学びを始めて良かったと思い、これからもっともっと聖書を知っていききたい、神様を知っていききたい、そして神様と共に生きていきたくてくれたら幸いです。受講者が安心して心を開ける場を作り、他の場所では話されたことを言わないよう約束してもらいましょう。

復習タイム

- ◆ 聖書は旧約聖書が「 39 」巻、新約聖書が「 27 」巻あり、B.C.「 1400 」年頃 から A.D.「 100 」年頃に書かれました。著者は約「 40 」人と言われています。時代も環境や職業も違うのにテーマが一貫しているのは、本当の執筆者が「 神 」だからです。
(参照：P16～17)
- ◆ 神は天地を「 創造 」されました。
『人間「 に 」造られた神』ではなく『人間「 を 」造られた神』なのです。
(参照：P18, 20)
- ◆ 神は「 生命 」の源です。人間は神の「 かたち 」として創造され、いのちの「 息 」＝「 霊 」を吹き込まれて生きるものとなりました。
(参照：P20～22)
- ◆ 神は私達人間を「 愛 」してくださっています。神は人と共に生きることを望み、存在そのものを喜んでおられます。神が造られた世界は非常に「 良い 」ものでした。(参照：P22～23)

いの お祈り

天の父なる神様、全てのものを造られ、いのちの源が、神様であることを感謝します。私達に命の息を吹き込み、心を通わせられるようにしてくださいました。神様に愛され、喜び持って生き、しっかりと繋がれている者にしてください。御名によって、アーメン。

CHAPTER
2-1

つみ
罪



基本編 (きほんへん)

テキスト P24~38

1

聖書を読む前に「罪」「罪人」と言ったら、どのようなイメージを持ちましたか？
今はどうですか？(参照：P24～26)

以前は犯罪人、被告人、ニュースや新聞に出た人、刑務所に入った人など。
聖書を読み、今、学んで、聖書でいう罪とは、悪いことをした「行為」ではなく、神から離れている「状態」を言い、的外れの生き方をしていることです。

2

神の言葉に従わないように仕向けた悪魔に対して、あなたはどのように思いますか？(参照：P28)

人の弱みに付け込むことが上手い。悪魔が誘惑しなかったらずっとエデンの園に居られたのに、余計なことをしてくれた。私がアダムやエバの立場だったらどうしただろうと考えてしまう、という意見や、ここでは「悪魔と悪霊は違うのか？」「悪魔はどこから来たのか？」「神が悪魔を造ったのでは？」などの質問も出やすいので答えられるようにしておきましょう。

3

罪によって壊される前の、神との信頼関係、愛の関係、親しく交わっていた世界とはどんなだったと思いますか？(参照：P28～29)

罪の話ばかりして気持ちが暗くなりがちなので、楽しいことを考えてみます。神がいて、悪いことが一つもなく、病や、老いや死もない、みんないい人で、争いがなくやりがいのある人生が与えられている。想像を超える素晴らしい世界。完璧に安全。笑顔が絶えない。言葉が一つで心が通い合う所。想像力を発揮して楽しい時間を取りましょう。

4

自分自身を本当の意味で受け入れられなかったり、何をしても満たされない思いや、他人を妬み、蔑み、怒り、殺人まで行うことは、罪の状態であるが故です。

あなたはこのような状態になったことがありますか？
このような状態の人を見てどのように思いますか？(参照：P30～32)

何をしても満たされないというのは本当にみじめ。他人を妬んだり蔑んだりするのは、自分自身を受け入れられないからだったのか。どうしても他人と比較してしまい、優越感を得たいと思うようになってしまう。満たされないのと常に向上心があるのとどう違うのか。自分も罪の状態だった。そういう人は本当に多いのではないかと気づいていきましょう。

5

罪に対して、あなたはどのように思いましたか？

対人関係で悩んだり、心の病気になる人が多いが、罪が根本にあったのか。何とかしたいが、これは自分の力では解決できない。神から離れていることが罪だと気付かなかった等、自由に発言して戴きましょう。何でも自由に話せる雰囲気や常を作り出しましょう。恥ずかしいと感じないように、笑われると思わないように常に真摯に耳を傾け、誠実に対応していきましょう。

ふくしゅう

復習タイム

- ◆ 英語の罪には「**CRIME**」と「**SIN**」があります。(参照：P25)
- ◆ キリスト教の教える罪(原罪)は、「行為」ではなく「状態」です。(参照：P25)
- ◆ ギリシャ語の罪 = ハマルティアには、「**的外れ**」という意味があります。(参照：P26)
- ◆ エデンの園で最初の人間「**アダム**」と「**エバ**」が蛇 = 「**悪魔**」に誘惑され、神の言葉に従わないように仕向けられました。
- ◆ 罪は肉体の「**死**」だけでなく、神との永遠の「**絆**」が断ち切られることです。(参照：P28)
- ◆ 「**一人の人**」 = 「**アダム**」の犯した罪は全人類に広がり、人間の「**心**」と「**身体**」の両方に致命的な打撃を与えました。(参照：P30)
- ◆ 罪によって心は決して「**満足**」することがなくなり、多くの悪が生まれるようになったのです。(参照：P30,31)

いの お祈り

天の父なる神様。罪のことを教えてください。感謝します。的外
れな生き方をし、何をしても満たされないものではなく、罪から
離れ、神様に満たされて生きていけますように。アーメン。

CHAPTER
2-2

つみ
罪



基本編 (きほんへん)

テキスト P24~38

1

信仰を持つ前、これを得たら幸せになると思っていたものがありましたか？ (参照：P32～34)

社会的成功、財産、結婚、知恵、良心に従って生きることなど、本書で違つと書かれていたものを多くの人々が求めていたことでしょう。今日の学びを知ることは、全く生き方が変わってしまう、とても重要なことです。

2

成功したり、目標を達成したり、ほしかったものを得られた経験があったら教えてください。

(参照：P28)

自慢話にならないよう気をつけつつ、自由に語ってもらいましょう。成功した経験がないと言う人もいるかもしれませんが、どうしても見つからない時は、ここにいる(神様の元に来て救われたこと、教会でこうして学んでいる)ことが人生最高の成功話になりますね、と励ましましょう。

* その時の気持ちはどうでしたか？

とても幸せだった、満足した、満たされた、優越感、勝利感、達成感を味わった等上げられるでしょう。

* その後その気持ちはどうになりましたか？ (参照：P35)

神様から与えられるものでなく、この世の幸せ感は長く続かないことに気づきましょう。どうしても欲しかったのに、手に入れてしまうと大したことではなかったと思つたり、目標を達成したらまた別の目標を立てたという人もいるかもしれません。それは良いことのようにも見えますが、永遠に満たされないということでもあるのです。

3

心で思つた悪いこと、口から出る悪い言葉も罪だと言われた時、あなたはどう思いましたか？

(参照：P35～36)

自分に目を向ける人は、とても厳しい、自分も罪人だ、罪人でない人はいない、と感じるでしょう。人に目を向ける人は、あの人もこの人も神に裁かれる、と思うかもしれません。いずれにしても神様は心の深みまで見抜かれ、全てのことを聞いておられるのです。

4

人間は死んだらどうなると思つていましたか？

無になる、風になる、生まれ変わる、生きている家族の近くにいる、考えたことがない、等、色々出るかもしれませんが、それらを否定しないで聞きましょう。

* では神から離れたままの状態(罪人)で、死んだ後、さばきの座に立つということを聞いてどう思いましたか？ (参照：P37～38)

神は正義であり公平であるが故、死んだ後、生きてきたことを裁かれます。聖書で教えていることを素晴らしい教えとしてはっきりと語りましょう。

5

多くの罪の状態であり続ける人々に対して、あなたは今どう思いますか？

聖書の真理を伝えたいと思えれば幸いです。

ふくしゅう

復習タイム

- ◆ パスカルは、どんな人間の心にも、神でなければ埋めることのできない「**穴**」があり、神でなければ満たされないものがあると言いました。(参照：P32)
- ◆ 社会的成功、財産、恋愛、哲学、良心に従って生きても、難行・苦行・修行をして肉体を酷使しても、慈善・施しをしても、人間に「**霊**」を与えた神、人間を神の「**似姿**」に造られた神に立ち返らなければ、心は本当の意味で満たされることはありません。(参照：P32～34)
- ◆ 「**心**」の中の悪い思いも、口から出る悪い「**言葉**」も罪(=sin)です。(参照：P35～36)
- ◆ 盗み、暴力、殺人など「**行動**」となって表れるのも罪です。(参照：P36～37)
- ◆ 「**義人**」はいない。ひとりもない。【ローマ 3:10】(参照：P37)
- ◆ 人間は死んだ後、神の前で「**裁き**」を受けます。だから地上での生涯のうちに神との関係を回復しなければならないのです。(参照：P37～38)

いの お祈り

天の神様、人間の心に空いている穴を神様が埋めてくださること
を教えてくださいありがとうございます。神様を求め、神様と
の関係をこれからも深くしていけますように。アーメン。

CHAPTER
3

すく
救い



基本編 (きほんへん)

テキスト P40~50

1

あなたは自分を救うためにキリストが十字架にかかってくださったことをどう思いますか？
(参照：P40～41)

あり得ないことです。私たちは神を無視して生きてきましたし、神を悲しませることを思い、語り、行ってきました。しかもイエスは神であって天の御座に居られたお方です。その方がどうして私の罪を赦し、恵みを受けられるように神と和解させ、永遠のいのちを与えようとしてくださるのでしょうか？ その為にどうして恐ろしい十字架にかかって苦痛の内に命を捧げて下さるのでしょうか？ とても人間には出来ないことだということを気づくことが大切です。

2

あなたはキリストを信じるだけで救われることをどう思いますか？
(参照：P42～43)

信じるだけで救われるというのは、人間である私たちには都合の良い話ですが、だからこそ、それが信じられません。それはこの世の中の都合の良い話で、私達は騙されてきているからです。でも真の神様は騙しません。信じた時に絆が回復されるのです。

3

キリストを信じるだけで得られる祝福の数々を上げてみましょう。

罪の赦し、神との和解、永遠のいのち、神の子となる、神の国の嗣業を受ける、聖霊が内に住む、御霊の実を結ぶ、死んだ後にやがて復活するなど...

4

あなたは最高の自分を取り戻し、最高の人生を生きていますか？ (参照：P48～49)

信仰をすでに持っている人の中に、「信じたのに最高の人生を送っているとは思えない」と言われる方もいるでしょう。健全な信仰を持ち聖霊に満たされていれば、必ず最高の人生を生きていると言えるようになります。期待して主の道を進みましょう。

5

救いについて、疑問や質問があったら上げてみましょう。

信じたのに「救われている感じがしない」と言われる方がよくいます。信仰は感情とは異なります。信じる意思を持って進むなら後から感情も伴ってきます。感覚に頼らないで信じる意思を持ちましょう。

ふくしゅう

復習タイム

- ◆ 神は「**聖**」なる方なので「**罪**」の状態の人間を受け入れられません。でも「**愛**」があるので人間を「**滅び**」から救いたかったのです。(参照：P40)
- ◆ 神の御子イエス・キリストはこの世に遣わされ、人間の罪を「**身代わり**」に死に、よみがえって信じる人に「**永遠の命**」を与えて下さいました。(参照：P40～42)
- ◆ キリストを信じると、「**聖霊**」が信じた者の内に住んでくださいます。そして神との絆が再び繋がれ、「**関係**」が回復するのです。(参照：P43)
- ◆ 聖霊は私達の「**霊**」を生き返らせてくださり、地上の命が終わっても、やがて新しい「**身体**」によみがえらせてくださいます。(参照：P45～46)
- ◆ また信じた人は神の「**こども**」として新しく生まれ変わります。(新生)
(参照：P46～47)
- ◆ 神との関係は「**一瞬**」にして回復され、心の「**欠乏感**」は無くなり、神に正しい者と認められ、最高の自分を取り戻し、最高の人生を生きるようになるのです。(参照：P48～49)

いの お祈り

天の神様、イエス様が私の罪の身代わりに十字架にかかってくださって、信じるだけで神の子とし、永遠の命を与えて下さったことを感謝します。神と共に生き、これから先も最高の人生を歩ませてください。キリストの名によって、アーメン。

これから起こること



基本編〈きほんへん〉

テキスト P52~55

1

あなたはこれからの世界が、今より良くなっていくと思いますか？悪くなっていくと思いますか？それはなぜですか？

良くなっていく→AIや再生医療などの進歩でさらに便利で長生きできる世の中になる。

悪くなる→人々の愛が冷え、神から益々離れて自己中心になり、経済格差が広がる。

環境汚染が進み、温暖化が酷くなる。

2

キリストが今、この地上に來られてあなたの目の前に來られたら、あなたはどうか感じたり、思ったりするでしょうか？（参照：P52～54）

信仰者には喜びですが、まだ救われていなかったり、救われていない人々のことを考えると恐ろしくなったり、まだ待ってもらいたかったりするかもしれません。

3

キリストが來られた時、神を信じなかったり、キリストを無視して生きてきた人たちはどう思うと思いますか？

考えもしなかったことで驚きと恐れがあるでしょう。キリストのことを聞いて知っていた人たちは信じていれば良かったと思い、反感を持った人たちは大きな後悔をするでしょう。

4

主イエスがまた來られる時が、本当の救いの時です。この素晴らしい時を待ち望むには、どのような毎日を送ったらいいのでしょうか？（参照：P52～54）

今日再臨があっても大丈夫、という毎日を送りたいものです。

5

これから起こることについて、疑問や質問があったら上げてみましょう。

テキストでは携挙についての記述がないので質問が出るかもしれません。再臨には空中再臨と地上再臨があります。患難時代や千年王国などの教理など「基本的真理に関する宣言」を参考にしましょう。

ふくしゅう

復習タイム

- ◆ 主イエスは十字架にかけられ、三日目によみがえって、「40」日間その姿を弟子たちに示されましたが、その後、「天」に上げられました。(参照：P53)
- ◆ 今の世の中は「永遠」に続くのではなく、「終わり」の(完成する時)が来ます。それが主イエスが再び来られる時なのです。(参照：P53～54)
- ◆ 主が再び地上に来られることを、「再臨」と呼んでいます。(参照：P54)
- ◆ 主は、ご自分を待ち望んでいる人々の救いを「完成」する為に来てください。
- ◆ 主を信じて、また来てくださる時を「待ち望み」しましょう。(参照：P55)

いの お祈り

天の神様、イエス様がまたこの地上に来てくださいますことを感謝します。今度は罪を負うのではなく、救いの完成の為に来てください。どうぞそのことを待ち望んで、希望をもって日々、歩めますように…。
アーメン。

CHAPTER
5

きょうかい
教会



基本編 (きほんへん)

テキスト P56~65

1

あなたは教会に来る前、教会にどのようなイメージを持っていましたか？

カトリック教会のような、ステンドグラスやパイプオルガンのある荘厳で厳粛なイメージを持っていたかもしれません。

2

あなたは、教会が神様の身体で、一人一人、身体の一部のように思われていることをどう感じましたか？

自分の身体の一部のように感じるという表現はなかなか言えないことなので、それだけ大切に思い、痛みや喜びを分かってくれるところなのだと思います。

3

あなたは、教会が神様の家族であることをどう思いましたか？

自分の肉の家族が冷たかったり虐待されてきた方にとってはあまり良いイメージを持ってないかもしれません。そのような人には自分の家族のようではない、新しい温かい神の家族であることを強調しましょう。

4

あなたは教会に関する P60 ~ 64 の (1) ~ (5) を読んでどんな感想を持ちましたか？

教会を建て物と思ったり、外から見ているだけだと分かりませんが、教会の本質はとても素晴らしいものです。

5

P65 の聖霊の力で行うとはどのようなことだと思いますか？

自分の力でやろうとすると恐れが出たり、人との比較が起こったり、失敗や成功にこだわったりしますが、聖霊の力で行うと勇気が出たり、肩の力が抜けたり、人の目ではなく神の目で見えて喜ばれることをしようと思えます。

ふくしゅう

復習タイム

- ◆ 教会はキリストの「**からだ**」で、イエス様は教会の「**かしら**」、そして教会は神の「**家族**」と言えます。(参照：P56～57)
- ◆ 教会のメンバーはキリストの体の「**器官**」です。(参照：P58～59)
- ◆ メンバーの一人ひとりが「**大切**」で要らない人は誰もいません。(参照：P60～61)
- ◆ またメンバー一人ひとりが「**責任**」を持っており、一人ひとりが「**異なる**」賜物をもっています。だから人と違っていいのです。(参照：P62～63)
- ◆ 教会はみんなで「**一つ**」、みんなで「**補い**」合います。(参照：P63～64)
- ◆ でも伝道や奉仕は自分の力ではなく、「**聖霊**」の力でいきます。(参照：P65)

いの お祈り

天の神様、神様が私たちに教会を与えて下さったことを感謝します。
身体の一部のように思われ、家族として見て下さっていることを感謝し、
互いに愛し合い、成長できる者としてくださいますようお願い致します。
イエス様の御名によって…。アーメン。

CHAPTER 6 せいれい
聖霊のバプテスマについて



基本編 (きほんへん)

テキスト P66~68

1

あなたは聖霊のバプテスマ、ということがあることを知っていましたか？ 知っていた人はいつ知りましたか？ (参照：P66)

教会に初めて来た方やペンテコステ系の教会に行ったことのない方はほとんど知らない言葉だと思います。どんな形でこの言葉を知っていったか分かち合ってみましょう。

2

あなたは、賛美や御言葉や説教で心が聖霊で満ち、涙が止まらないことや、深くて広い平安な心、喜びや力が湧いて来る経験をされたことがありますか？

多くの方が体験していることだと思いますが、涙を流すのが恥ずかしくて止めていた方や自分だけの経験と思っている人がいるかもしれません。それは聖霊の働きですと宣言しましょう。

3

あなたは、異言を聞いたことがありますか？ 聞いたことのある人はどのように感じましたか？

異言を聞く前に説明や証しを聞いていましたか？ 全く説明なく異言を聞いた人は正直に言ってどう思われたか聞いてみましょう。驚いて当然です。でもその人達の日常生活が良いものであることを通して、安心して異言を受け入れられるようにしましょう。

4

あなたは、聖霊を求めて祈っていますか？ 主イエスの約束と P68 にある恵みを戴きたいと思いませんか？

聖霊の恵みの大きさや良い体験などを話し、全ての人が不安なく、聖霊を求めて祈れるようにしましょう。

5

聖霊のバプテスマについてどんなことでも質問してください。

同じプロテスタントでも聖霊のバプテスマを強調しない教会もありますので、それはなぜかと聞かれることがあります。その教会も正統な教会だけれど、聖霊を強調する教会は信仰が生き生きしている、今も聖書時代と変わらず神の奇跡を体験して歩める、と説明しましょう。

ふくしゅう

復習タイム

- ◆ 日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団は「**ペンテコステ**」派と呼ばれる教団で、聖書に基づく「**聖霊体験**」に重きを置いています。
(参照：P66)
- ◆ 聖霊に満たされる最初の体験を「**聖霊のバプテスマ**」と呼び、その証拠は「**異言**」で祈ることです。(参照：P66～67)
- ◆ キリストの弟子は「**五旬節**」の日に聖霊に満たされ、「**他国**」のことばで話し始めました。使徒の働き2:1～4。全世界の20億人のクリスチャンのうち「**7億人**」人がペンテコステの信仰を持っています。
(参照：P67)
- ◆ 聖霊のバプテスマを通して、信仰が「**大胆**」になり、祈ることが「**自然**」になり、礼拝でもっと「**聖霊**」を感じるようになります。
(参照：P68)
- ◆ またイエスさまを「**証し**」することや「**奉仕**」をすることが喜びになります。(参照：P68)

いの お祈り

天の神様、私たちに今、聖霊を注いでくださり、満たして下さることをありがとうございます。聖霊で満たされ、さらに豊かで力強い信仰生活を送れるようにしてください。イエスさまの御名によってお祈り致します。アーメン。